5 長期資金運用・調達状況

長期資金運用・調達総額は、17年度5,373億円（対前年度比5.5%減）、18年度計画額は、4,004億円（同25.5%減）となっている。

(1) 長期資金運用

17年度の資金運用をみると、設備投資所要資金額2,699億円（対前年度比17.0%増）、投融資1,327億円（同6.0%減）、短期資金への振替1,347億円（同31.6%減）となっており、資金運用総額に占める割合は、設備投資所要資金額が50.2%、投融資が24.7%、短期資金への振替が25.1%となっている。設備投資所要資金額の割合は、16年度と比べて増加している。

18年度計画額については、設備投資所要資金額2,497億円（対前年度比7.5%減）、投融資 261億円、短期資金への振替1,767億円（同31.2%増）となっており、資金運用総額に占める割合は、設備投資所要資金額が62.4%、投融資が 6.5%、短期資金への振替が44.1%となることが見込まれる。

16、17、18年度の3年間をみると、投融資、設備投資所要資金額が減少し、短期資金への振替の増加が見込まれる。

(2) 長期資金調達

17年度の資金調達をみると、自己資金4,168億円（構成比77.6%）、株式282億円（同5.2%）、社債 221億円（同 4.1%）、借入金1,144億円（同21.3%）となっている。

18年度計画額については、自己資金3,938億円（構成比98.4%）、社債 44億円（同 1.1%）、借入金110億円（同2.7%）となっている。

16、17、18年度の3年間をみると、社債、株式での調達が減少し自己資金の割合の増加が見込まれる。また、借入金は17年度で増加し、18年度で減少が見込まれる。

長期資金運用・調達の実績及び計画

(単位：百万円・%)

区 分	1 6 年 度		1 7 年 度		1 8 年 度		対前年度比		
	(実 績 額)		(実 績 見 込 額)		(計 画 額)		17 / 16	18 / 17	
	(A)	構成比	(B)	構成比	(C)	構成比	(B) / (A)	(C) / (B)	
長期資金運用	設備投資所要資金額	230,636	40.5	269,870	50.2	249,728	62.4	17.0	7.5
	投 融 資	141,191	24.8	132,742	24.7	26,067	6.5	6.0	-
	短期資金への振替	197,061	34.6	134,730	25.1	176,732	44.1	31.6	31.2
	合 計	568,888	100.0	537,342	100.0	400,393	100.0	5.5	25.5
長期資金調達	株 式	1,605	0.3	28,208	5.2	12	0.0	1657.5	-
	社 債	27,730	4.9	22,087	4.1	4,366	1.1	-	-
	国 内 社 債	4,270	0.8	18,087	3.3	5,566	1.4	-	-
	海 外 社 債	32,000	5.6	4,000	0.7	1,200	0.3	-	-
	借 入 金	69,523	12.2	114,391	21.3	10,956	2.7	64.5	90.4
	政府系金融機関	864	0.2	6,815	1.3	5,387	1.3	-	-
	民間金融機関	70,387	12.4	107,576	20.0	16,343	4.1	52.8	84.8
自 己 資 金	470,030	82.6	416,830	77.6	393,815	98.4	11.3	5.5	
合 計	568,888	100.0	537,342	100.0	400,393	100.0	5.5	25.5	

[付表 7 (p29 ~ 31) 参照]